

Simple Serial モニタ

S S M - 2 5 0 9

取扱説明書

エムシーアイエンジニアリング株式会社
〒182-0024 東京都調布市布田 1 - 4 4 - 3
TEL 0424-87-9564 FAX 0424-82-9138

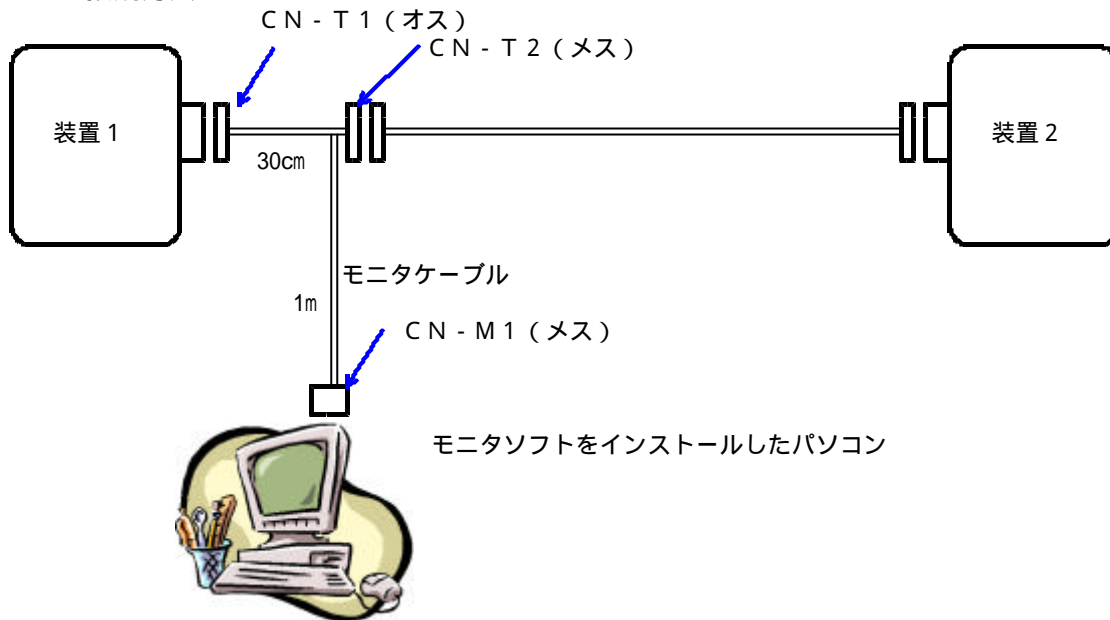
第 2 版 2003年02月24日

[1] 概要

Simple Serial Monitor「SSM-2509」は各種の電子機器で汎用的に使用されているシリアル伝送（RS232C）を手軽にモニタし、装置やシステムのデバッグ・解析の補助として使用することを目的としています。

モニタケーブルを装置間、およびパソコンの RS232Cポートに接続し、モニタソフトを起動し、ボーレートなどを設定するだけで装置間の通信データをパソコン画面でモニタすることができます。

[2] ケーブルの接続方法



「CN-T1」、「CN-T2」コネクタをモニタしたい装置間に接続します。
 「CN-M1」コネクタをモニタソフトをインストールしたパソコンの RS232C コネクタに接続します。

「CN-T1」、「CN-T2」は Dsub 25ピン、「CN-M1」コネクタは Dsub 9ピンです。

「CN-T1」コネクタと「CN-T2」コネクタの間は完全ストレート接続になっています。
 送信データライン、受信データライン、GNDラインの3本は「CN-M1」コネクタにも接続されています。

CN-T1、CN-T2のピン配列表

信号名	ピン番号	信号名
FG	1	
TxD	2	1 4 SSD
RxD	3	1 5 SSC
RTS	4	1 6 SRD
CTS	5	1 7 SRC
DSR	6	1 8
SG	7	1 9 SRS
DCD	8	2 0 DTR
	9	2 1 SQD
	10	2 2 RI
	11	2 3 DRS
SRL	12	2 4 SST
SCS	13	2 5

CN-M1のピン配列表

信号名	ピン番号	信号名
	1	
RxD	2	6
	3	7
	4	8
GND	5	9

[3] 使用上の注意

1 : モニタケーブル

信号レベルはRS 232Cとなっています。
RS 422、RS 485などのモニタはできません。

CN - T 1 コネクタ、CN - T 2 コネクタの送信データと受信データをCN - M 1 コネクタの中でダイオードを使って論理和 (OR) されたデータをモニタします。
二つの装置が同時に送信動作を行った場合は正しいデータがモニタされず、ORされたデータがログウィンドウに表示されます。